

7月25日正午必着

明石春浦先生書



地闊分二吳塞一
 行紀添二新夢一

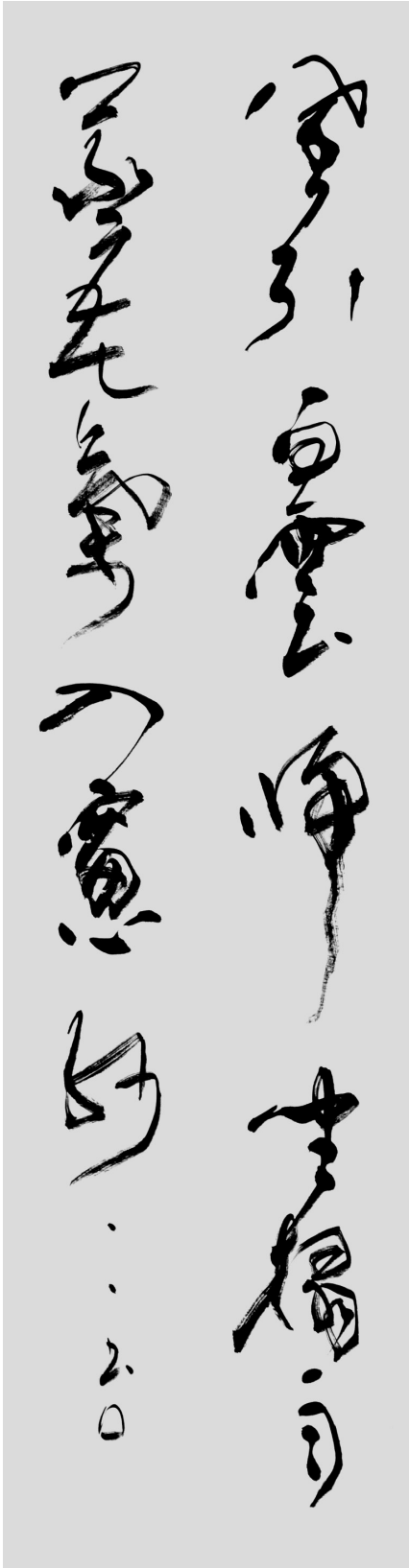
楓高映二楚天一
 羈愁甚二往年一

曲塘春盡雨
 何時京洛路

方響夜深船
 馬上見二人煙一

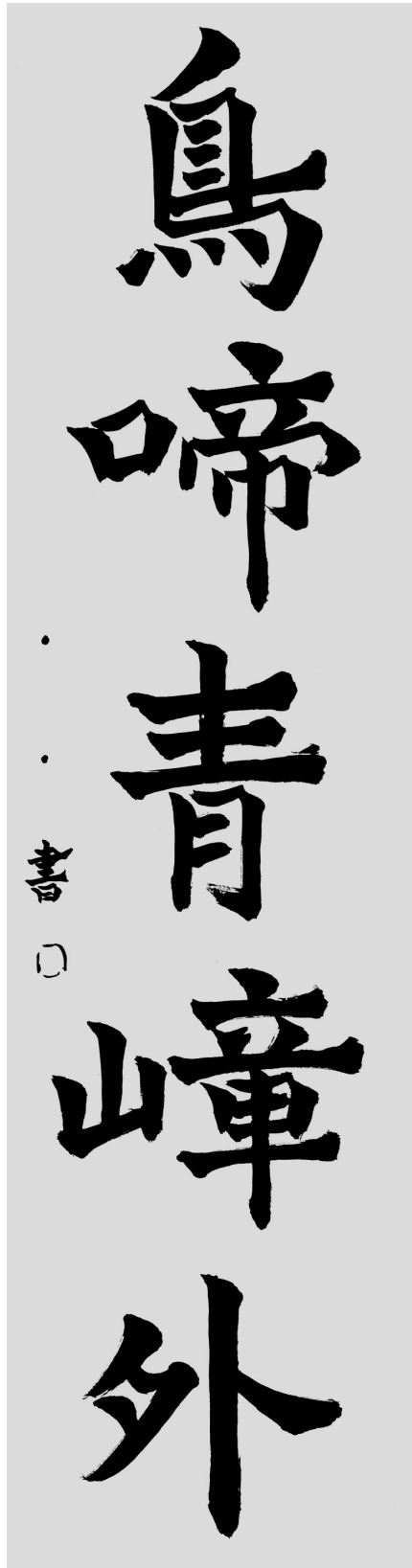
明石幸子書

(司空図)



風引白雲歸坐榻、雨蒸花氣入窓紗 (王冕)

白雲を導いて風が椅子のところまで吹き来り、花の香氣をこめた雨が窓かけにかかる。



鳥啼青嶂外（全室） 青嶂の外には遠くに鳥が鳴いている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

修竹引薰風^一（章安石）

修竹薰風を引く

竹の林から夏の涼しい風が吹く。薰風は夏の風。

簾前花落常疑^レ雨
樹裏雲過忽見^レ山

（殷邁）

簾前に花落ち常に雨かと疑い、
樹裏に雲過ぎて忽ち山を見る。

すだれの前に雨かと思われるように花が散り、雲が
樹々の間からはれて思いがけなくも山の姿が見えた。

夏夜西亭即事

（耿漳）

夏夜 西亭の即事 耿漳

高亭賓客散 暑夜最相和

高亭 賓客散じ 暑夜 最も相和す

細汗凝^レ衣集 微涼待^レ扇過

細汗 衣に凝って集まり 微涼 扇を待つて過ぐ

風還池色定 月晚樹陰多

風還って 池色定まり 月晩くして 樹陰多し

遙想隨^レ行者 珊珊動^二曉珂^一

遙かに想う 行に随いし者の 珊珊として 曉珂を動かせしを

猫の子の首の鈴が音かすかにも音のみしたる夏草のうち

（大隈言道）

お詫び

玄和六月号 自由参考手本の
明石春浦先生の釈文に誤りが
ありました。左記の通り訂正
してお詫び申し上げます。

正：願^レ性養^レ壽（嵇康）

性を願^レい壽を養^レう

半紙部規定課題A

7月25日正午必着

天 氣
高 悲
秋

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

7月25日正午必着

行書

天高秋
氣悲

隸書

天高秋
氣悲

明石春浦先生書

草書

天高秋
氣悲

行草書

天高秋
氣悲

山中に夜は明け初め、旅人は去って行く、空は高く、ものがなしい秋のけはい
地上の川に映じていた天の川はすでに消え去って、かぐわしい草はつめたい露の中に衰えてゆく
いまここに別れて、またも千里のかなたに赴くのだが、若さというものはいつまでも保てるものではない
君の住む剡溪への道がはっきり心に浮ぶ、いささか将来の約束をお届けしましょう

早行寄朱放

戴叔倫

山曉旅人去

天高秋氣悲

明河川上沒

芳草露中衰

此別又千里

少年能幾時

心知剡溪路

聊且寄前期

早行 朱放に寄す

戴叔倫

山曉けて 旅人去り

天高くして 秋氣悲し

明河川上に沒し

芳草 露中に衰う

此の別れ 又た千里

少年 能く幾時ぞ

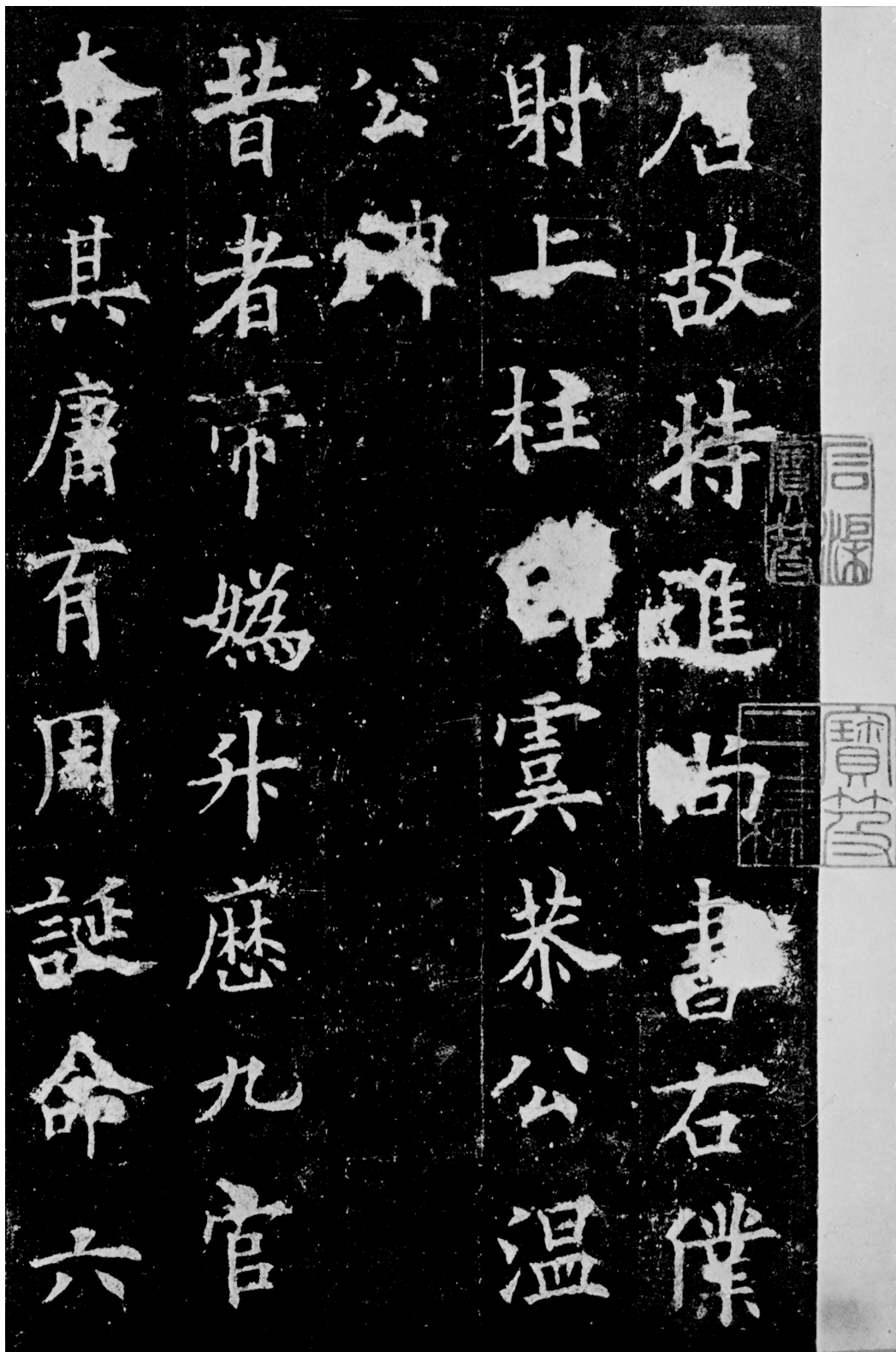
心を知る 剡溪の路

聊且 前期を寄す

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より



唐故特進尚書右僕射上柱國虞恭公碑。昔者帝嬀升歷。九官奮其庸。有周誕命。六。

唐故特進尚書右僕射上柱國虞恭
臨口

唐故特進尚書右僕射上柱國虞恭（温公碑）

右僕射
臨口

右僕

唐 歐陽詢・温彦博碑

歐陽詢は陳の永定元年（五五七）、潭州臨湘の生まれで、字は信本。中国では南北朝時代を終え、南北統一国家としての隋が誕生する。そして、隋代の三十年を経て、中国史上もっとも偉大な王朝といわれる唐王朝が建国された。唐代（六一八〜九〇七）は、建国から滅亡に至るまでおよそ二九〇年間続いたが、とりわけ隆盛を極めたのは二代皇帝太宗（李世民）の時代であった。彼は聡明で、すぐれた政治的手腕をもち、大きな功績を残した。（貞観の治）

文化的観点からみると、隋から初唐にかけての時代は古今に比類のないほど書の名人大家が輩出した時代で、南北朝の統一によって文化も統一融合を見るに至ったのである。そしてその統一の完成期が太宗の時代であると言われている。

太宗は生来書を好み、殊に王羲之の書を寵愛した。したがって、彼は文化政策の一環として、書道の確立に大いに力を注いだ。その太宗に虞世南とともに重用されたのが歐陽詢である。彼はいかなる書でも巧みにこなした人であったが、その書は楷書に代表され、南朝の伝統的な書を基盤とした典雅な中に力強い動きをこめた書風は、唐王朝の隆昌を表現するものと言えよう。

彼は正書四碑（皇甫誕碑・化度寺碑・九成宮醴泉銘・温彦博碑）を残しているが、いずれも晩年の作であり、この温彦博碑は八十一歳の四碑最後の書で、歐書の集大成とも言われている。（春灣）



なん
南

きょく
極

中学一年

雨宮春聲先生書



どう
童

よう
謡

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



ほん
本

ぼん
箱

小学五年

榎戸春龍先生書



りょ
旅

こう
行

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

7月25日正午必着



あお
青

そら
空

小学三年

藤田幸春先生書



もく
目

てき
的

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た き 小学一年・幼年



森戸春濤書

夕 日 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

遠	浅	の	海	で	美	し	い
貝	が	ら	を	あ	つ	め	る

小学五年

こ	こ	は	天	国	に	一	番	近
い	島	と	い	わ	れ	て	い	る

小学六年

も	水	平	線	に	沈	み	ゆ	く
照	り	輝	い	て	い	た	太	陽

中 学

寄	せ	る	波	や	わ	ら	か	な	風
ゆ	っ	く	り	と	時	が	流	れ	る

一般(級位)

あ	し	ひ	き	の	山	の	は	い	づ	る	月	か
げ	ら	大	海	原	の	波	を	見	る	か	な	

一般(段位)

あしひきの山やまのはいづる月つきかげに大海原おほうなほらの波なみを見るかな(明治天皇)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ら	う
を	み
	で
ひ	
ろ	か
っ	い
た	が

幼年

く	ど
白	こ
い	ま
す	で
な	も
は	つ
ま	づ

小学一年

海	な
水	つ
よ	や
く	す
を	み
す	に
る	

小学二年

と	海
う	を
台	ま
が	も
見	る
え	白
る	い

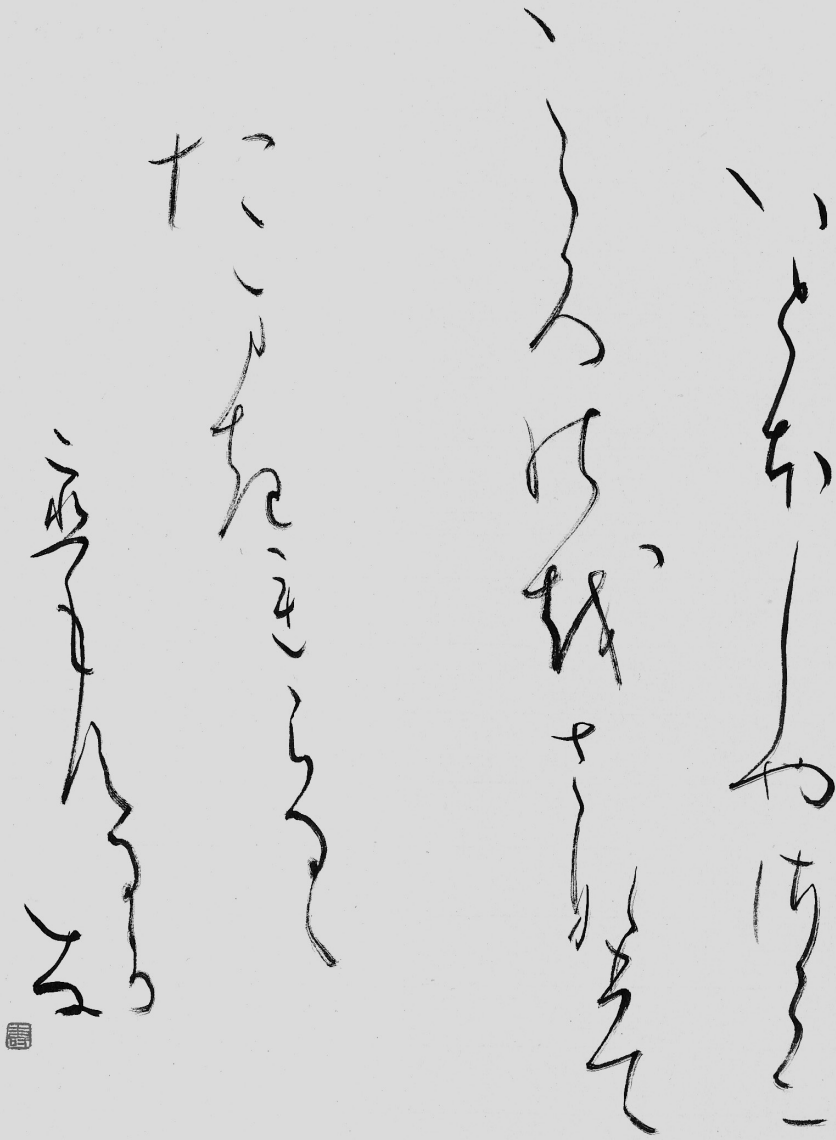
小学三年

に	や
囲	し
ま	の
れ	木
た	と
南	さ
の	ん
島	ご

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

いとほしや
 本 さらさら
 佐 二 ころの
 能 越を
 那 悲 かなびて
 万 起 たま
 連 連 きれらるゝ
 恋 須も
 可 奈 するかな
 (西行法師)